

製品名: MARK3 (4Z8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13650**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:50-1:100, FC 1:50-1:100, IP 1:20-1:100
分子量	84kDa

抗原情報

遺伝子名	MARK3
別名	C-TAK1; cTAK1; Emk2; KP78; Mark3; PAR1A;
遺伝子 ID	4140.0
SwissProt ID	P27448
免疫原	ヒト Mark3 の合成ペプチド

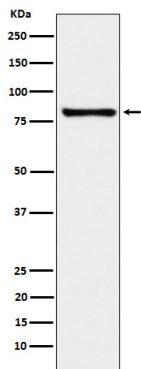
背景

タウ、MAP2、MAP4などの微小管関連タンパク質の特異的リン酸化に関与する。CDC25Cの'Ser-216'をリン酸化。セリン/スレオニンタンパク質キナーゼ (PubMed:23666762)。MAP2およびMAP4などの微小管関連タンパク質の特異的リン酸化に関与する。微小管関連タンパク質 MAPT/TAUをリン酸化する (PubMed:23666762)。CDC25Cの'Ser-216'をリン酸化。HDAC7のリン酸化を媒介し、HDAC7と14-3-3の相互作用を促進し、核外への排出を促進することで、一部のヒストン脱アセチル化酵素の局在と活性を制御する (PubMed:16980613)。Hippoシグナル伝達経路を負に制御し、LATS1のリン酸化を拮抗する。DLG5と連携して、STK3/MST2のLATS1に対するキナーゼ活性を阻害する (PubMed:28087714)。

研究分野

-

画像データ



K562細胞溶解物中のMARK3発現のウエスタンブロット分析。